3-2

指示語

ポイント

1. しまむにの指示語の体系は日本語と大体同じで、話し手との近さなどから「近称」・「中称」・「遠称」の3つに分かれる。
2. ふり「これ」・うり「それ」・あり「あれ」が、物だけでなく人も指す。

1. 指示語

日本語の「**これ・それ・あれ**」のように、話し手の位置によって、指す対象が変わる語は「**指示語**」と呼ばれます。しまむにの指示語の体系は、日本語の指示語と大体同じで、話し手との近さなどによって**近称・中称・遠称**の3つに分かれます。

2. しまむにの「これ・それ・あれ」「この・その・あの」

物を指すとき、話し手の近くにあるものを指すときは「**ふり**（これ）」、聞き手の近くにあるものを指すときは「**うり**（それ）」、話し手からも聞き手からも遠くにあるものを指すときは「**あり**（あれ）」を使います（表1）。

表1. しまむにの「これ・それ・あれ」「この・その・あの」

	近称	中称	遠称
これ	ふり　「これ」	うり　「それ」	あり　「あれ」
これ・この	ふん　「これ・この」	うん　「それ・その」	あん　「あれ・あの」
この	ふぬ　「この」	うぬ　「その」	あぬ　「あの」

教材に関する動画はこちらで配信しています ▶
(c) Akiko Yokoyama

この「**ふり・うり・あり**」は、人に対しても使うことができます。例えば（1）のように、少しはなれたところにいる人を指して「あの人は～」と言うときには「**あり**」を使います。

（1）

あり＝※わ　たかし＝が　とぅじ＝どーやー

あの人＝は　たかし＝の　つま＝だよ

「あの人はたかしの奥（おく）さんだよ」

「**この・その・あの**」にあたる言葉としては、それぞれ「**ふん**/**ふぬ**」「**うん**/**うぬ**」「**あん**/**あぬ**」があります。

（2）

あぬ　をぅなぐ＝わ　たかし＝が　とぅじ＝どーやー

あの　女＝は　たかし＝の　つま＝だよ

「あの女の人はたかしの奥（おく）さんだよ」

3.　しまむにの「こう・そう・ああ」「こんな・そんな・あんな」

日本語の「**こう**」「**こんな**」「**こうして**」…に当たるしまむには表2の通りです。近称（きんしょう）は「**は～**」、中称（ちゅうしょう）は「**が～**」、遠称（えんしょう）は「**あ～**」系（けい）のかたちをしています。

表2. しまむにの「こう・そう・ああ」「こんな・そんな・あんな」

	近称（きんしょう）		中称（ちゅうしょう）		遠称（えんしょう）	
こう	**はん**	「こう」	**がん**	「そう」	**あがん**	「ああ」
こんな	**はんしゃぬ**	「こんな」	**がんしゃぬ**	「そんな」	**あがんしゃぬ**	「あんな」
こうして **こんなに**	**はんし**	「こうして」 「こんなに」	**がんし**	「そうして」 「そんなに」	**あがんし**	「ああして」 「あんなに」

（3）

はん　しりば　ゆくゎん＝どー

こう　すれば　いい＝よ

「こうすればいいよ」

（4）

たる＝が　はんしゃぬ　くとぅ　しーよー？

だれ＝が　こんな　こと　したの

「誰（だれ）がこんなことしたの？」

※ このテキストでは、他の言葉と区別するために、助詞（じょし）の前に「＝」をつけています

(c) Akiko Yokoyama

(5)

あがんし	きらさぬ／ちゅらさぬ[1]	ちゅー＝わ	うらん
あんなに	きれいな	人＝は	いない

「あんなにきれいな人はいない」

1 西部方言では「きらさぬ」、東部方言では「ちゅらさぬ」です。

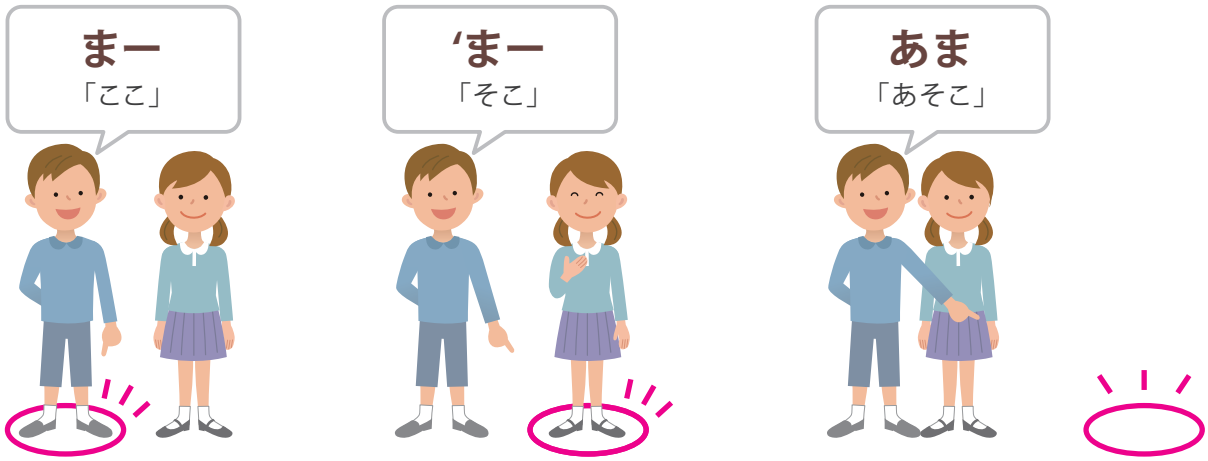
「**がん**」は「**がんがん**（そうそう）」「**がんでぃろなー？**（そうですか？）」「**がんでぃろやー**（そうですね）」など、様々な相づちにもなります。

4. 場所を表す指示語（しじご）

場所を指すとき、話し手の近くを指すときは「**まー**（ここ）」、聞き手の近くを指すときは「**'まー**（それ）」、話し手からも聞き手からも遠くを指すときは「**あま**（あそこ）」を使います。「**まー**（ここ）」は日本語のマ行と同じ「ま」、「**'まー**（そこ）」は「**つまー**」のように喉（のど）をしめる発音です。

表3. 場所を表す指示語（しじご）

	近称（きんしょう）	中称（ちゅうしょう）	遠称（えんしょう）
ここ	まー　「ここ」	'まー　「そこ」	あま　「あそこ」



(6)

わらんきゃ／わらんちゃ[2]	まー＝ち	ふー＝よ
子どもたち	ここ＝へ	来い＝よ

「子どもたち、こっちへおいで」

2 西部方言では「わらんきゃ」、東部方言では「わらんちゃ」です。

(7)

'まー＝に	うぬ	'まー
そこ＝に	いる	馬

「そこにいる馬」

(c) Akiko Yokoyama

5. 使ってみよう

次の文を使って、いろいろなものの名前をたずねてみよう。聞かれた人は、好きな言葉をえらんで、答えてみよう。

うり＝わ　ぬー＝よー？
それ＝は　何＝か

「それはなあに？」

ふり＝わ（　　）でぃろ
これ＝は（　　）です

「これは（　　）です」

◇ 身の回りのもの・食べ物の名前

ふでぃ「筆・ペン」

ふくる「袋（ふくろ）、バッグ」

めー「ご飯」

しし「肉」

あり＝わ　ぬー＝よー？
あれ＝は　何＝か

「あれはなあに？」

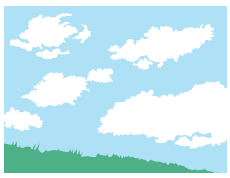
あり＝わ（　　）でぃろ
あれ＝は（　　）です

「あれは（　　）です」

◇ いろいろな動物・自然の名前

がらし「カラス」

ふぁーとぅー「ハト」



くむ「雲」

てぃだ「太陽」

(c) Akiko Yokoyama